

# RPJ News

2022年 6月号

特定非営利活動法人(NPO法人)

精神保健福祉交流促進協会 Refresh Project

〒130-0001 東京都墨田区吾妻橋2-17-7-801

毎月1回発行

発行責任者：志井田美幸/ 長野敏宏/ 仁木守

E-mail ref-pj@mx5.ttcn.ne.jp

ホームページ <http://www2.ttcn.ne.jp/ref-pj/>

## 内 容

### \* 第1回 Web セミナー「仕事づくり」(3)

#### 4. 「仕事づくり ～愛南町における取組み～」

正光会御荘診療所 長野 敏宏

### \* 第2回 Web セミナー

#### 「重度の人をどの様に支えていくか」(1)

～クロザピンの基礎から～ 実施報告

### \* 事務局からのお知らせ

- 第3回 Web セミナーのお知らせ
- 2022年度会費納入のお願い

### \* 第1回 Web セミナー「仕事づくり」(3)

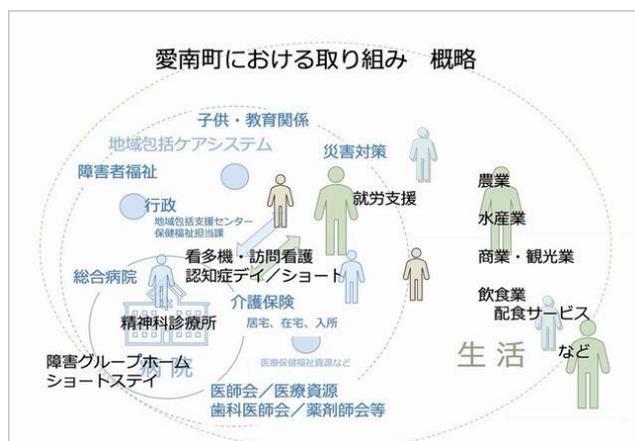
#### 4. 「仕事づくり ～愛南町における取組み～」

正光会御荘診療所 長野 敏宏

これが今の愛南町の全体です。

病棟がやっと5年前に無くなりました。今ちょっと2年位人不足で在宅の支援力が若干落ちて入院が増えています。それでも入院は多くても1か月に1人か2人、大体は町で3か月に1人位が普通という位のところには来ています。病床無しで、診療所、グループホーム、看取りまでやっていくので、看多機やデイ/ショート、それから町中の資源とは全部オンタイムで常に連携をしながら、町のことをやっていくというスタイルです。企業等も含めて連携できないところは、ほぼありません。コロナ等でも、全部今どこの誰が感染しているというところまで情報がハブとして入りながら、地域の感染をどの様に止めるか、というところで日々やり取りをするお陰で、ここまで来ているのかなという気はしますが、未だまだその様になればなるほど問題は出てきます。

それでは仕事づくり、働くところ作り、生業づくりとはどのような位置づけかという、スライドを見ていただくと、青い部分は地域で皆さんが立ち上げて連携している部分、いわゆる狭義の意味で言うと医療・福祉の地域包括ケアシステムというのは、この辺りまでになってきます。でも皆さんお気づきだと思いますが、皆が医療・福祉の中で生きている訳ではありませんし、私もその中で生きたい訳ではありません。皆やはり医療・福祉の匂いのしないところで生きることも凄く大事で、その部分がとても町が縮小していく、どんどん





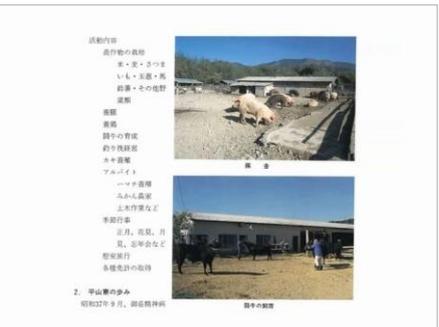
儲けられるか、どの様にしたら人が雇えるか、どの様にしたら皆の遣り甲斐があるか、等ばかり考えていました。しかし人が生きる地域としての生業というのは、とても大事だなと思いました。この写真は真珠をやっている集落です。真珠の小屋があってここから海に出ています。家では早朝に起きて真珠で作業をする、朝食を食べてまた作業をする、海に出る、帰ってきて作業をする、昼ご飯を食べてまた作業をする、そして夕方帰って寝る、という生活です。ここにいるおばあちゃん、おじいちゃんでも良いのですが、ボケてきたら何をするかというと「少しでもお手伝いできたら」といって作業場でずっとお手伝いをして、家族もその方を支援する、介護すると言って向き合うのではなく、横目で「ばあちゃんボケてきたけど大丈夫かな」と思いながら「危ない危ない」と気遣いながら、それでおばあちゃんも「チョットは役に立てたらな」と言いながら段々年老いていく、という様な人生を送っていかれます。そこに私の様なヘッポコ医者が入って「認知症ですからデイサービスに行きましょう」等わけ分からないことを言うと、そこから離されておばあちゃんが何て言うかという「私だけ金使って遊ばせてもらってスマンナー」と言ってデイサービスに行かれます。その様なことを目の当たりにします。でもこの生業と言われる生きる場所が無くなってしまったら、それも叶わなくなります。愛南町の良さが無くなるなと思っています。



この写真もそうです。11代続く農家です。12代目が今必死にやっていますが、水田があって畑と家のこの中で12代ずっと家が存続していきます。この様な生業をどの様にするか。守るという事は新しいものを作るという事ですから、どの様に作るか、という事を大きく発想しながらやっています。



しかしこれらは私たちが始めたわけではなく、先輩たちが昭和50年代、60年代には豚を飼ったり、なんやかんやとやったりしていました。我々が良かったのは先輩が見事に10年で失敗してくれていた、障がい者が自主的に働けるようにと頑張ったのですが、10年でほぼ消滅しました。これは限界の構図だと思っています。今はもう関係なくやることをやっていくだけです。この様に先輩たちが必死にやってくれて、理念は残しつつ、見事に消滅していたということで、先輩に言うとな怒られますが失敗の歴史があります。



我々もその頃から10年後くらい、当時は尾道とアイデアだけ競り合っているにも実際には全然及ばなかった頃です。あれが良いかも、これが良いかも、あれ見に行つて、これ見に行つて、作ってみては失敗して捨てて、みたいな事を延々10年やっていた頃です。

それから法人立ち上げです。先ほどの話で出雲が法人を立ち上げていましたが、合同会社の件です。良いなと思いつつ見ながら見ました。法人を立



ち上げるとい事は、仲間たちと腹を据えるという事で、お金の責任、雇用の責任が入るので、しんどいので腹は据えてNPOを作ったのが15年前です。

今日は田上さんが今日話すはずでした。釣りの自慢ですね。隣で糸を切ってやろうかと思いましたが、大物を釣り上げました、63kgのカジキですね。彼もとっても素敵なOTなのですが、今はすっかり農家になっています。

観葉植物のレンタルから始まって、温泉です。温泉も開所したときには、尾道から軽トラ1台分の米を持ってきてくれたことを覚えています。宿泊も知らないうちに皆さんが来てくれました。

バイキングも本当に凄い人気だったのですが、1つ隣の町に認知症の講演に行ったとき、会場の人にバイキングに来たことある人と聞いたところ半分以上に人が手を挙げてくれるような感じでした。本当に有り難いことです。

この様に色々なことをしてきました。アボガドは、農業を始めるときに地域の農業を習うのは未来を感じないので、誰も作れない国産・輸入品の中で、国産品が無いものでこれから伸びそうなものはないか？と思って探していたところアボガドがありました。それでアボガドに注目して、私たちは教えられるのが嫌いで、自分たちで考えてやりたい。それで皆でアボガド食べて苗を生やして、でも全部枯れました。それでアメリカに行って種を買いました。2泊2日でヴィレッジの近くに行ったのですが、ヴィレッジには寄らず帰ってきました。それで苗を作りましたが、それも花は咲かせましたが全部枯れました。そうこうしていましたが4年程前に銀座千疋屋さんの本店でデビューすることができました。初めて9年目にやっとデビューして、いまだにヒヤヒヤしながらやっていますが、愛媛アボガドとしてフェアをやっていただいています。今も1000本強育てています。農業登録も1つ取れ、周りの農家にどんどん広げたり県も事業化したり、今度は灌水設備も町が山に全部作ってくれることになりました。農家と

10年活動を続けてきた**仲間たち**と、腹を据えた

NPO法人 ハートinハートなんぐん市場  
設立趣意 (H18.4)

- 様々な立場の住民が、共に参画し、地域振興・環境保全・就労支援活動を通じて地域貢献を行いたい。
- 地域活性化につながる**産業を興したい。**
- **私たちの街が、いきいきとあり続けるために。**

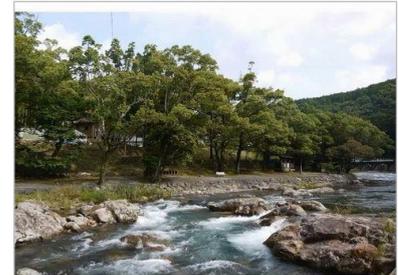
希望の輪は、10年の取引締結で唯一、1人の雇用が可能だった「観葉植物レンタル業」



名前  
田上 純一  
(たのうえ じゅんいち)  
出身地  
福岡県 大牟田市  
(ふくおかけん おおむたし)  
職業  
作業療法士  
(さぎよりょうほうし)

観葉植物のレンタル事業  
H17.10

ECO INTERIOR  
エコテリアなんぐん市場

して希望を作るところがチョットずつ出来たかなと思っています。

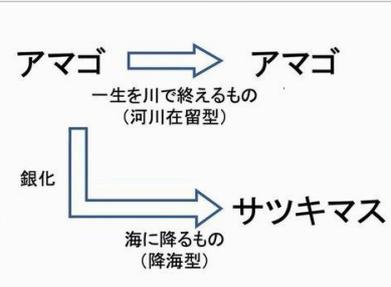
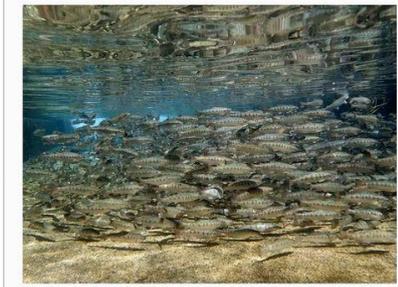


魚の養殖までまさかやるとは思っていませんでしたが、アマゴの養殖です。アマゴを海に出すと降海型でサツキマスになります。この辺りは田上さんがプロです。

こちらが海に出しているところで、この様に大きくなります。苦戦していますが、なかなか美味しいです。アボガドとセットで売るといったことも考えています。



アマゴの養殖



一番最近始めたのは、神戸の王子動物園コアラの餌のユーカリ栽培です。これはとても良いです。動物園・水族館とドンドン繋がっていきます。コアラは年間でユーカリ 2000 万円分食べます。神戸に行かれた時、コアラがユーカリを食べていたら御荘のかと思っていただけたら嬉しいです。アボガドに比べたら 1000 倍以上簡単です。



お米も田上さんがドンドン引き受けてくれますので、現在は 2.4ha で東京ドーム半分位までになりました。一生懸命やっています。

### 稲作



面積:2.4ha  
6軒から借受  
収穫量:約11t



### 稲刈り



柑橘も今は 3ha 位でしょうか、やっとまともな物が作れるようになってきました。そしてふるさと納税を最近始めました。普通に売って収益が入るのではなく、ふるさと納税だと収益と共に町に対する寄付が入ってくるというのがとても良いと思っています。去年の冬始めたばかりです。わずか数百万ですが、利点があるなと感じています。

### 柑橘栽培



- ・河内晩柑
- ・温州ミカン
- ・ポンカン
- ・甘夏
- ・せとか
- ・はるか
- ・甘平



それから原発問題ですが、福島原発問題で山梨から北の原木しいたけは全部ダメで使えないのです。菌床しいたけとも天秤はかけてみたのですが、これは誰もやれないことをやってみようと思い、原木シイタケをやっています。原木の切り出しから皆さん全員でやるので凄いなと思いながら、僕はヤローと言うだけですから酷い話です。菌打ちから本伏せ、これの 5 倍から 10 倍くらいの量になっています。田上さんが県知事賞を 2 年連続で頂くくらいのところまでやってきました。

### 原木椎茸栽培



### 原木の切り倒し



### 菌打ち作業



### 本伏せ





10月下旬ごろから4月上旬まで発生



最後です。これは今日の皆さんのスライドを見せていただき付け足しましたが、皆を掛ける。コラボレーションを良く使っているなど感じています。このスライドは何処かのセミナーで使ったものですが、他分野が普通に・・・という様に混ざり合っています。米を作って、病院の敷地の倉庫にしまう。病院は高台にありますので、津波が有っても大丈夫です。ここに大きな冷蔵庫を備えて、販売しつつ、そのまま災害備蓄になります。災害ネットワークを作り、災害医療であり、地域の防災倉庫とする。

この様な繋がりから、地域の医師不足をどの様に解消しようか、という事で、これは山出し温泉です。様々な学生さん、この時は順天堂大学の医学部の皆さんですが、愛媛大学医学部の方等いつも全国から100名位来てくれています。これはもう10年になりますが、今はオンラインで開催しています。この様なことをしながら、町の医療をどの様にして守るか、というところにコミットしています。

またコロナ禍では弁当が活きていますので、色々なところが循環しながら何とかお役に立てないかと思っています。お金はギリギリかマイナスかで、頭を下げなくてはいけない時が良くあります。その様なところですが、何とか生きているかなという感じです。

今の愛南町の状況はこの様な感じです。

以上です。



————— ☆ ————— ☆ —————

## \* 第2回 Web セミナー

### 「重度の人をどの様に支えていくか」(1)

#### ～クロザピンの基礎から～ 実施報告

6月15日水曜日 19時から Zoom ミーティング方式で、第2回 Web セミナーを開催しました。

(長野) 今回 2 回目のセミナーです。今回は「重度の人を・・・」ということで、この内容は志井田さんから 2 回ほど前の会議の時にクロザピン・クロザリルの話が出てきて、とても大事な視点だなと思いました。勿論色々なことをされていらっしやいますが、その中でクロザリルを是非とり上げたいなと思いました。

クロザリルに関して日本は遅れに遅れました。導入も遅れましたが、決して新しい薬ではありません。やっ



と使えるようになりましたが、県によってはなかなか広がっていません。国も慎重でようやく少しずつ緩んできたところでは。

ここは良く解ったうえで、福祉施設や地域の支援がリンクしていかなくてはいけないのですが、未だ医療機関でさえまともに取り組まれていないというのが本当のところでは。

ヨーロッパでいうと3割から4割くらい、多い国でいくと6割くらいクロザリルの処方になっているところで、この選択肢を1つ日本が入れないという状況をとても拙いと思います。

やはり重たい方をどの様に支えるかということで、医療保護入院の事で共同通信が色々書きましたが、医療保護入院の廃止という事が表舞台にまで出てきたことは凄いことなのですが、結果としては調整が入ってしまいました。それでは地域で医療保護入院を本気で無くせるところがどの位あるのか、というと簡単な事ではありません。

その様なところも含めて、地道な活動がとても大事になるところが、今回勉強できたら良いなと思っています。

志井田さん楽しみにしていますので、是非宜しくお願いします。

7月号に続く

#### \* 事務局からのお知らせ

##### ◎ 第3回 Web セミナーのお知らせ

日時 2022年9月14日(水) 19:00~21:00 予定

テーマ 「災害への対応(仮)」

※ 参加ご希望の方は、メールでご連絡ください。招待状をお送りします。

##### ◎ 2022年度会費のお願い

本年度も是非協会運営にご協力ください。宜しくお願いします。

正会員年会費 10,000円、賛助会員会費 1口1,000円(3口以上希望)

振込先 ゆうちょ銀行 口座記号番号 00110-7-315159

口座名 NPO 法人精神保健福祉交流促進協会



#### — 編集後記 —

今年度の研修会が開催できて、画面を通し皆さんと再会すること、情報の共有をすることができたことを嬉しく思っています。長野先生のお話を聴かせていただき、自分たちが活動している地域では、企業や行政、医療や福祉がどれくらいコミットできているのだろうかと改めて考えてみました。しかし、愛南町のように地域の皆さんと連携し活動しているというにはほど遠い状況にあると改めて感じました。自分たちの地域を今一度よく知り、その中で、過去の方々の理念は残しつつ、これまでの活動を振り返りながら新しいことを生み出していけたらと思いました。長野先生、大変参考になるお話をありがとうございました。6月になり梅雨時期となりましたが雨が少なく蒸し暑い日が続いております。皆さんお身体に気をつけてお過ごしください。(shiida.m)

特定非営利活動法人 精神保健福祉交流促進協会